

鼻をガリガリツとかじりました。

「いたーい、助けてくれー。」

と、どろぼうは泣き声を出して、逃げていきました。

「行っちゃったよ。」

「よかったね。」

「おどろいていたね。」

たけしちゃんやふみえちゃんが帰ってきました。

「おやおや、げんかんがあいている。」

「かぎがこわれている。」

「だれか来たのかしら。」

「どろぼうがはいったようだ。」

「足あとがある。」

「何かとっていったかしら。」

おとうさんもおかあさんもたけしちゃんもふみえちゃんも心配しました。

しかし、何もとられたものはありませんでした。

「ああ、よかった。だけど、どうして何もとらないで帰ったのかしら。」

こうもりがざとビスケットのかんが、

「そりゃわたしたちがおっぱらったからですよ。」

といいましたが、だれにも聞えませんでした。

てんじょううらで、ねずみさんが、

「わたしが鼻をかじったから逃げたのですよ。」

とじまんすると、おかあさんは、

「あら、またてんじょうでねずみがないている。」

といいました。

たけしちゃんやふみえちゃんは下にころがっているビスケットのかんをみると、

「きつとどろぼうが落したのね。」

と、かんをひろいあげました。そして、「ああ、おなががすいちゃった。」

といって、かんのふたをあけて、おいしそうにビスケットをたべました。

## 幼児の教育 第五十八巻 第七号

七月号 © 定価五〇円

昭和三十四年六月二十五日印刷

昭和三十四年七月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所  
フレーベル館にお願いいたします。